

今週（10月2日から10月6日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、オファーサイドの運用ニーズが減退した一方で、ビッドサイドからは引き続き強い資金調達ニーズが見られたため、レートが徐々に上昇する展開となった。

無担保コールO/N物は、週初から上昇し、2日(月)は▲0.045～▲0.035%近辺が出合いの中心となった。その後も、日毎にレート水準が上昇していく展開となった。特に6日(金)は、3連休要因も加わったため、取引開始直後から取り上がる先も見られた。しかし、一巡後には調達に目途がついた先からビッドを引き下げる動きが見られたことから、出合いレートがやや低下する展開となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.04～▲0.01%近辺で引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、537～545兆円台で推移した。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね▲0.155～▲0.100%程度となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全体的な品薄感から概ね堅調に推移した。

3日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でもオファーされ、按分利回較差+0.010%、平均利回較差+0.013%と、弱めの結果となった。

5日に実施された6M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットではしっかりと推移した。6日に実施された3M物入札はやや弱めに決着したが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、四半期末明けによる発行再開の動きが多く見られ、鉄鋼、食料品、その他金融業等の複数業態から大型発行が実施された事で、発行超のマーケットとなった。

市場残高は、9月末に22兆円台まで低下したものの、足元では24兆円台後半まで回復した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%前後での出合いが中心であったが、ロングターム物については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
10/2（月）	31,759.88	0.770	149.72	△ 0.044	△ 0.131	5,455,200
10/3（火）	31,237.94	0.760	149.86	△ 0.031	△ 0.150	5,441,600
10/4（水）	30,526.88	0.805	149.24	△ 0.021	△ 0.131	5,372,200
10/5（木）	31,075.36	0.800	148.80	△ 0.015	△ 0.119	5,391,800
10/6（金）	30,994.67	0.798	148.62	△ 0.016	△ 0.103	5,380,700

来週（10月10日から10月13日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/9 (月)	スポーツの日				New York祝日(Columbus Day)
10/10 (火)	8月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 8月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 9月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				8月の米卸売売上高
10/11 (水)		5Y 25,000億円 10/12発行	エネルギー 対策借入 6,200億円 10/20借入		9月の米生産者物価指数
10/12 (木)	9月の企業物価指数(日銀 8:50) 8月の機械受注統計(内閣府 8:50)				9月の米消費者物価指数 9月の米財政収支
10/13 (金)	9月のマネースtock(日銀 8:50)	TB3M 56,000億円 10/16発行	交付税借入 13,000億円 10/24借入		10月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/9 (月)	スポーツの日								
10/10 (火)	200	▲ 1,900	▲ 1,700	CP買入 国債補完 全店共通	▲ 100 40,100	10,000	50,000	48,300	TB3M発行▲56,000 償還58,000 TB6M発行▲40,000 償還39,800
10/11 (水)	▲ 1,000	3,000	2,000	全店共通	▲ 8,500		▲ 8,500	▲ 6,500	交付税借入 ▲13,000 期日13,000
10/12 (木)	1,000	▲ 26,000	▲ 25,000				0	▲ 25,000	源泉税揚げ 5Y発行▲25,000
10/13 (金)	▲ 500	77,000	76,500				0	76,500	年金定時払い
週 間 合 計	▲ 300	52,100	51,800	—	31,500	10,000	41,500	93,300	

10/10は日銀予想、10/11以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、一部で調達ニーズの落ち着きも見られていることから、▲0.03%前後で推移すると予想する。債券レポ GC T/N物は、積み期間最終週のため資金ニーズの動向が注目される。短国市場は、13日に3M物の入札実施が予定されている。また、11日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、12日にCP等買入オペが4,000億円予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では12日に9月の企業物価指数、8月の機械受注統計、海外では、10日に8月の米卸売売上高、12日に9月の米消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入